

〔3〕 APEC を誘致する

1 誘致から決定まで

平成 20 年 7 月 4 日、国際会議等の北海道開催の推進に関する閣議了解により、国として国際会議等の北海道開催の推進に取り組んでいくことが示された。

同年 9 月 11 日、北海道洞爺湖サミットの開催によって高まった知名度や官民協働の機運を活かしながら国際会議等の誘致を進める「北海道国際会議等誘致推進会議」を設立し、オール北海道による誘致活動に取り組むこととした。

その後、同推進会議が中心となって「2010 年 APEC（アジア太平洋経済協力）首脳会議北海道誘致に関する要望書」（平成 20 年 10 月 28 日）や、「2010 年 APEC 分野別担当大臣会合の札幌市開催に関する要望書」（平成 21 年 4 月 2 日）を外務省をはじめとする関係省庁などに提出した。さらに、平成 21 年 3 月 31 日には、北海道議会から「2010 年 APEC 分野別担当大臣会合の北海道開催を求める意見書」を内閣総理大臣や関係大臣に提出するなど、本道での APEC の開催に向けた誘致活動を道民一丸となって積極的に展開した。

その結果、平成 21 年 5 月 15 日に政府より、分野別担当大臣会合の中でも最大規模となる「貿易担当大臣会合」の札幌開催が発表され、7 月 21 日、シンガポールで開催された第 19 回貿易担当大臣会合に併せて、2010 年に日本で開催される APEC の関連会合の開催地と日程が発表された。

【日本 APEC 関係会合開催日程】



2 推進体制

貿易担当大臣会合などの札幌開催の決定を受け、道、札幌市、道内経済界・産業界が一体となって会合開催に向けた準備に取り組むこととし、平成21年7月8日に、道や札幌市をはじめ道内17団体で構成する「2010年APEC貿易担当大臣会合北海道・札幌実行委員会」（会長：北海道知事、会長代行：札幌市長）を設立した。同時に、北海道議会議長、札幌市議会議長、北海道経済産業局長、北海道開発局長、北海道運輸局長の5名の方々に実行委員会の顧問にご就任いただき、様々な観点からご助言をいただくこととした。

また、北海道・札幌実行委員会の事務局を道庁内に設置し、道、札幌市から職員を派遣し、開催に向けた準備をスタートした。また、道内経済界からは、北海道電力、北洋銀行、北海道銀行、JR北海道、JTB北海道の各企業からそれぞれ職員が派遣され、最終的には39名の職員により会合の準備にあたった。

また、警備関係については、北海道警察本部が中心となって体制を組むこととした。

なお、APECに係る消防防災関係や危機管理、医療救護、衛生管理などについては、随時、関係機関と連携を図りながら準備を進めることとした。

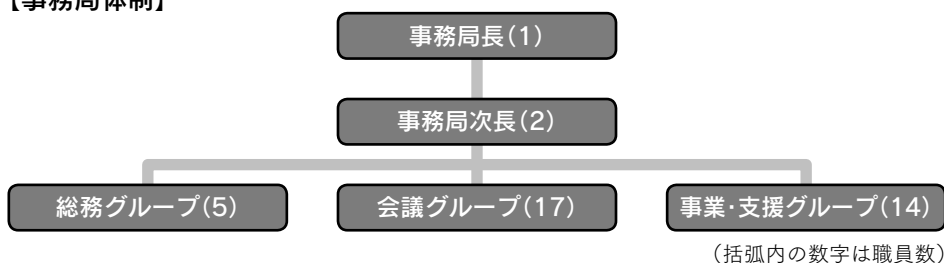


設立総会

【構成団体】

構成団体	役職
北海道（知事）	会長
札幌市（市長）	会長代行
北海道経済連合会（会長）	副会長
（社）北海道商工会議所連合会（会頭）	〃
北海道経営者協会（会長）	〃
北海道経済同友会（代表幹事）	〃
（社）北海道観光振興機構（会長）	〃
北海道農業協同組合中央会（会長）	〃
北海道商工会連合会（会長）	理事
（社）北海道建設業協会（会長）	〃
ホクレン農業協同組合連合会（代表理事会長）	〃
北海道漁業協同組合連合会（代表理事会長）	〃
北海道木材産業協同組合連合会（代表理事会長）	〃
北海道市長会（会長）	〃
北海道町村会（会長）	〃
北海道中小企業団体中央会（会長）	監事
北海道商店街振興組合連合会（理事長）	〃
北海道議会議長	顧問
札幌市議会議長	〃
北海道経済産業局長	〃
北海道開発局長	〃
北海道運輸局長	〃

【事務局体制】



3 2010年APEC貿易担当大臣会合北海道・札幌実行委員会

北海道・札幌実行委員会を円滑に運営するため、実行委員会に幹事会を設置し、事業について必要な事項を協議することとした。

平成 21 年 9 月 9 日に、2010 年 APEC 貿易担当大臣会合北海道・札幌実行委員会幹事会を開催し、実行委員会の事業計画及び事業予算案について審議した。

この結果を受けて、北海道・札幌実行委員会の総会を開催し、全会一致により事業計画案及び事業予算案が承認された。

実行委員会の事業は、①会合の開催支援、②北海道ならではのおもてなし、③北海道・札幌の情報発信、の 3 つの柱に沿った事業を実施することとした。

これらの事業を実施するための全体事業費を 7,500 万円とし、道と札幌市がそれぞれ 2,500 万円ずつ負担するとともに、残りの 2,500 万円をサミットの成果を未来につなげる道民会議（ポスト・サミット道民会議）が負担することとした。

【実行委員会の取組（計画）】

区 分	内 容	主 な 事 業
開催支援	貿易担当大臣会合等の成功に向け、受け入れ体制の整備を行うとともに、円滑な開催を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・住民向け広報 ・通訳員の確保 ・現地視察支援 ・エクスカージョン ・インフォメーション機能の整備 等
おもてなし	貿易担当大臣会合等の開催を幅広く周知し、関連事業を実施することにより、歓迎機運の盛り上げを図るとともに、おもてなしの意を表す歓迎セレモニーなどを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター作成 ・リーフレット作成 ・記念イベント ・環境美化活動 ・歓迎バナー 等
情報発信	貿易担当大臣会合等の開催を契機に観光や食などの北海道・札幌の様々な魅力を発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ開設・運営 ・情報誌発行 ・プレスツアー ・情報発信ブース ・歓迎レセプション ・記念品 ・講演会 ・シンポジウム 等

【事業費（予算額）】

項 目	予 算 額（千円）
(1) 北海道負担金	25,000
(2) 札幌市負担金	25,000
(3) サミットの成果を未来につなげる道民会議負担金	25,000
合 計	75,000